

| 羅 針 盤 | | | 方 策 |
|----------------------------------|--|---|--|
| 評価対象 | 評価項目 | 具体的数値項目 | |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。 | 1 特色ある教育活動を行っていますか。 | ① 特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 | 1日研修旅行やクラスマッチなど特色ある行事等の特別活動と部活動を充実させ、生徒の諸活動の活性化を推進する。「総合的な探究の時間」を充実した内容に企画し、定時制と社会の結び付きや進路意識や職業観の育成の重要性の理解を促す。 学級活動、学校行事、部活動に積極的に取り組む生徒が自己有用感を向上させることが多いため、本校の五常の教えを踏まえ、継続して生徒の主体性を大切にする教育活動を推進する。 三修制は本校の大きな特徴であり、説明会等を通して、生徒・保護者の理解を促す。また、学校に軸足を置いた生活習慣の確立を継続的に指導し、保護者とも協力しながら長欠者・退学者を出さない環境づくりに努める。 |
| | | ② 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。 | |
| | | ③ 三修制を利用して、95%以上の生徒が3年間で卒業している。 | |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。 | 2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 | ④ 「授業がわかりやすく、授業によって学力が身についている」と思う生徒が80%以上である。 | 学力の3要素のバランスのよい授業展開を意識し、新しい学びのための授業改善に組織的・計画的に取り組む。また、授業外の個別指導や長期休暇中の補習を充実させ、生徒の個性や個別最適な学びを意識した指導を進める。 保護者との報告、連絡、相談を密にとりながら、ともに生徒の成長を支える。成績不振生徒には個別指導や補習を通して、実態に応じた丁寧な指導を継続する。 |
| | 3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。 | ⑤ 成績不振者は全生徒の5%以下である。 | |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 4 組織的・継続的な指導を行っていますか。 | ⑥ 生徒に関する情報交換を週1回以上実施している。 | 組織的な対応を前提として、情報交換による共通理解が当たり前になる、風通しの良い職場環境をより一層整備していく。 クラスマッチ、食の教室、校内発表会等を中心に、生徒会役員と全校生徒による主体的な生徒会活動が行われるよう、継続的に指導していく。 |
| | | ⑦ 生徒会活動が充実していると評価する生徒が80%以上である。 | |
| | 5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。 | ⑧ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。 | 定期的ないじめアンケートのみならず、普段から教職員一人一人が生徒をよく観察し、組織として情報を共有することで、早期発見・早期対応に努め、本校の五常の教えを踏まえて、いじめの未然防止と解決に努める。 |
| IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。 | 7 計画的な指導を行っていますか。 | ⑩ 進路通信等を月1回発行する。 | 1学年から進路意識の向上・職業観の育成のための組織的・計画的な指導を実施する。進路通信「船出」を計画的に発行し、外部との連携も継続していく。 学校からの配布物が保護者に渡るように連絡を徹底するとともに、面談等を通して進路に関する家庭内での話し合いを促す。生徒と保護者が同じ視線で進路を見つめることができるように支援をしていく。 |
| | | ⑪ 家庭での話し合いを促し、生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上である。 | |
| | 8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。 | ⑫ 好ましい職業観を育成するよう、在学中に就業体験をした生徒が80%以上である。 | 勤労青年の学びの場としての定時制の理念に基づき、ハローワークなど外部機関との連携を図りながら、生徒の社会性や自己肯定感育成のためにも、引き続き就業体験を支援する。アルバイトだけでなく、インターンシップを実施する。 |
| V 開かれた学校づくりに努めていますか。 | 9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。 | ⑬ 学校便り等（5：30新聞及び5：30新聞ミニを含む）を月1回以上発行する。 | 年1回の5：30新聞や毎月の5：30新聞ミニ、進路通信「船出」などの発行により、本校定時制教育活動についての理解を進める。また、本校定時制ブログ「笑顔の5:30」を週1回更新し、定時制教育の魅力を発信する。 ・全日制と連携しながら、定時制のホームページを適宜更新し、より一層の情報発信に努める。また、必要に応じてHPのレイアウトなどを工夫し、より見やすい工夫をしていく。 ・保護者面談、公開授業、学校見学の随時受入を継続して行う。沼高定時制の広報に努め、中学校訪問も随時実施する。 |
| | | ⑭ ホームページの更新を毎月実施する。 | |
| | | ⑮ 保護者面談の他、公開授業を年2回以上行う。 | |
| VI 教育のデジタル化に努めていますか。 | 10 ICTを活用した指導を行っていますか。 | ⑯ ICTを活用した教育活動に80%以上の生徒が満足している。 | ・ICT機器を活用した授業はもちろん、Chromebookを活用した授業展開や学校行事等におけるGoogle Workspaceの活用を推進する。生徒の情報機器の活用力を高めると同時に、情報リテラシー向上も促す。 ・対面では伝えにくいこともオンラインだとできる生徒も増えている。Google Classroomやオクレンジャーなどの様々な連絡ツールを持つことで、学校と家庭の信頼関係を強くする。 |
| | 11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。 | ⑰ ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。 | |